

令和 7 年度事業計画書

社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会

令和7年度那須塩原市社会福祉協議会事業計画

I 基本方針

今日の地域社会では、8050世帯やダブルケア、ヤングケアラーの問題などのように、世帯が複合的な課題を抱えて制度の狭間に陥り、単独の相談支援機関では対応が難しい地域生活課題が増加しています。また、相談窓口自ら相談に行くことやサービスの利用の手続きをすることが難しく、時には解決を自らあきらめてしまうなど、必ずしも支援に結び付かないケースが多数存在しています。こうした状況にある人々に共通する背景には、地域コミュニティの希薄化とそれによる社会的孤立の問題があり、単に制度やサービスにつなぐだけでは解決しないケースは少なくありません。

そこで、本会では、昨年度に引き続き「地域共生社会」の実現に向けたスローガンとして『誰一人取り残さず、重層的な支援体制を構築する』を掲げ、「連携・協働の場」（プラットフォーム）としての役割を十分に発揮し、地域のあらゆる関係者の参加と協働を徹底するとともに、これまで進めてきた総合相談・生活支援の取り組みなどの状況を踏まえ、今後地域で起こり得るあらゆる生活課題に対応すべく、重層的な支援体制の構築を目指します。

II 重点目標

◆その人らしい暮らしを地域で支えます

誰もが安心して、その人らしい暮らしができるよう、支援が必要な人や支援が届いていない人を見逃すことなく受け止め、地域住民や関係者とともに、継続的な支援を行います。

また、さまざまな活動や事業を通じて地域住民に働きかけ、人と人とのつながりづくりや居場所づくりに取り組むほか、差別や偏見、社会的排除を放置することなく、多様性を尊重する包摂的な地域づくりに向けて福祉教育の取り組みも進めていきます。

◆住民主体の地域づくりを推進します

より多くの地域住民が気軽に地域づくりに参加し、多様な活動が自然に生まれてくるよう働きかけを行い、地縁を基盤とした組織だけでなく、個人が自分の意思により参加したいと思えるような多様なグループとの出会いやつながる場づくりに取り組んでいきます。また、地域住民の関心の多様化を踏まえ、あらゆる分野の関係者と連携・協働して地域づくりを進めていきます。

◆協議体としての機能を地域福祉に活かします

地域住民や関係者との対話や協議を通じて、住民主体の意義や重要性を共有していくとともに、福祉以外の分野も含めた多様な主体との連携・協働を広げるなど、協議体としての組織特性を地域福祉に活かしていきます。

◆地域福祉を推進する団体としての責任を果たすとともに、行政とのパートナーシップをつくります

地域住民や関係者、行政等それぞれの主体が役割を果たしつつ、連携・協働できるよう、地域福祉の共同運営に努めます。また、行政とのパートナーシップを築き、両輪として地域福祉を進めていけるよう努めます。

Ⅲ 主要事業の概要

◆社会福祉事業

○地域福祉拠点区分

法人本部サービス区分

事業名	事業の概要
理事会・評議員会の運営	法令に従い理事会及び評議員会を運営します。 本年度予算額 3, 7 2 2 千円 前年度予算額 2, 8 0 2 千円 増減額 9 2 0 千円

法人運営サービス区分

事業名	事業の概要
会員加入推進	本会の目的に賛同し、目的を達成するために共に活動していただく会員の加入促進に努めます。 ・普通会員（会費1口 5 0 0 円以上） ・特別会員（会費1口 3, 0 0 0 円以上） ・施設会員（会費1口 5, 0 0 0 円以上） 本年度予算額 1 1, 3 8 4 千円 前年度予算額 1 1, 7 5 6 千円 増減額 △ 3 7 2 千円
基金運営委員会の運営	福祉基金の適切かつ効果的な運営を図るため基金運営委員会を設置します。 本年度予算額 5 2 千円 前年度予算額 2 1 千円 増減額 3 1 千円
第三者委員会の設置	苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員会を設置します。 本年度予算額 一 千 円 前年度予算額 一 千 円 増減額 0 千 円
寄附の受け入れ	福祉基金 地域福祉活動の推進及びボランティア活動の振興に資するための寄附を受け入れます。 本年度予算額 2, 2 7 2 千円 前年度予算額 2, 2 7 2 千円 増減額 0 千 円

	交通遺児基金 義務教育中の交通遺児が、安定した生活の一助とするための寄附を受け入れます。 本年度予算額 378千円 前年度予算額 378千円 増減額 0千円
	善意銀行 市民の善意に基づく金品を広く受け入れます。 本年度予算額 436千円 前年度予算額 434千円 増減額 2千円
	地域共生社会振興基金 地域共生社会の実現に資する事業を実施するための寄附を受け入れます。 本年度予算額 1,000千円 前年度予算額 1,000千円 増減額 0千円
中期経営計画の策定事業	本会としての使命や基本理念、基本方針等を明確にし、その実現に向けた組織体制、事業展開、財務等に関する具体的な取り組みを明示した計画を策定します。 本年度予算額 16千円 前年度予算額 ー千円 増減額 16千円

地域福祉サービス区分

事業名	事業の概要
社会福祉大会事業	多年にわたり社会福祉の発展に寄与された方々を顕彰し、また、地域福祉の更なる充実に向けて福祉の啓発を図ることを目的として社会福祉大会を開催します。 本年度予算額 1,698千円 前年度予算額 1,064千円 増減額 634千円
広報啓発事業	社協だより、ホームページ及びSNS等を活用し、本会の事業・活動及び福祉全般に関する情報を市民に提供・啓発します。 ・社協だよりの発行（年2回） ・ころまるだよりの発行（年3回） ・ホームページ、LINE、Facebook等の運営 本年度予算額 1,136千円 前年度予算額 1,119千円 増減額 17千円
福祉協力店事業	地域福祉活動を積極的に推進している事業所等を福祉協力店として登録し、地域福祉活動の拠点をつくります。 本年度予算額 ー千円 前年度予算額 ー千円 増減額 0千円

地域福祉活動補助金事業	自治会等が主体的に実施する福祉活動に補助金を交付し、地域の連携と協力体制を構築し、地域の課題解決を支援します。 本年度予算額 8, 269千円 前年度予算額 8, 083千円 増減額 186千円
誰一人取り残さない事業	誰一人取り残さない地域を目指すため、制度の狭間にある福祉課題を抱えた人を支援します。 本年度予算額 1, 000千円 前年度予算額 1, 000千円 増減額 0千円
地域福祉活動計画推進事業	「那須塩原市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会」と計画の取組状況の推進管理を行います。 本年度予算額 13千円 前年度予算額 29千円 増減額 △16千円
社会福祉法人等連携事業	社会福祉法人による公益的な取り組みを推進するため、市内で福祉施設を運営する社会福祉法人等の連携・協働を支援します。 本年度予算額 118千円 前年度予算額 62千円 増減額 56千円
地区社協設立支援事業	地域住民が地域の課題を把握し、それぞれの地域に応じ住民主体の地域福祉活動を行う地区社協設立を支援します。 本年度予算額 430千円 前年度予算額 251千円 増減額 179千円
地域共生社会に向けた啓発事業	地域共生社会の実現に向けて様々な地域課題や制度の狭間にある人の課題解決に向け、当事者やその家族、関係機関、地域住民と連携したネットワークの構築や啓発活動等の事業を行います。 本年度予算額 250千円 前年度予算額 250千円 増減額 0千円
車いす送迎車貸出事業	障害者等の移動手段として車いす送迎車を貸出します。 本年度予算額 604千円 前年度予算額 279千円 増減額 325千円
車いす貸出事業	病気やけが等により一時的に車いすが必要な方に車いすを貸出します。 本年度予算額 120千円 前年度予算額 62千円 増減額 58千円

小口資金貸付サービス区分

事業名	事業の概要
小口資金貸付事業	生計維持の困難な低所得等の世帯に緊急かつ一時的に生活費を貸付けます。(限度額5万円) 本年度予算額 3,695千円 前年度予算額 3,629千円 増減額 66千円

日常生活自立支援サービス区分

事業名	事業の概要
日常生活自立支援事業 (あすてらす)	高齢や障がい等により判断能力に不安がある人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や生活費の管理等を行います。 本年度予算額 19,716千円 前年度予算額 18,872千円 増減額 844千円

法人後見サービス区分

事業名	事業の概要
法人後見事業	認知症や障がい等により判断能力が不十分なため、意思決定が困難な人に本会が後見人・保佐人・補助人となり、財産管理や身上保護を提供することによって被後見人・被保佐人・被補助人の権利を擁護します。 本年度予算額 1,018千円 前年度予算額 412千円 増減額 606千円

地域住民助け合いサービス区分

事業名	事業の概要
地域住民助け合い事業	多様な主体と連携をしながら、助け合いの地域づくりを推進します。15ヶ所の公立公民館のエリアを単位とした地域住民助け合い活動を目指し、公民館に地域支え合い推進員を配置し地域活動を支援します。定期的な情報の共有及び地域の関係者のネットワーク化を図る協議体の設置を目指します。 本年度予算額 56,783千円 前年度予算額 47,321千円 増減額 9,462千円

相談支援包括化推進サービス区分

事業名	事業の概要
相談支援包括化推進事業	福祉総合相談窓口を設置し、複雑化・複合化した事例への対応のほか、関係機関・団体等との連携協働により資源開発、地域づくり及び包括的支援体制を構築します。 本年度予算額 24,036千円 前年度予算額 21,729千円 増減額 2,307千円

共同募金配分金サービス区分

事業名	事業の概要
赤い羽根共同募金運動	住民相互の助け合いの精神に基づき、「じぶんの町を良くするしくみ。」をキャッチフレーズとして赤い羽根共同募金運動を実施します。 本年度目標額 9,948千円 前年度目標額 10,180千円 増減額 △232千円
歳末たすけあい募金運動	経済的に困窮している世帯及び福祉施設の利用者等が安心して新年を迎えることができるよう募金活動及び募金の配分を行います。 本年度目標額 5,959千円 前年度目標額 5,956千円 増減額 3千円
罹災者支援事業	地震や火災などの災害に遭った市民のために県共同募金会と連携し、見舞金又は弔慰金を配分します。 本年度予算額 100千円 前年度予算額 100千円 増減額 0千円
福祉団体活動支援	各団体の活動を支援し、福祉課題の提言や社会資源として地域福祉を推進します。 ・民生委員児童委員協議会 (予算額: 1,362千円) ・老人クラブ連合会 (予算額: 109千円) ・身体障害者福祉会 (予算額: 42千円) ・ひとり親家庭福祉連合会 (予算額: 1千円) ・心身障害児(者)父母の会 (予算額: 33千円) ・那須肢体不自由児協会 (予算額: 1千円) ・とんぼの会 (予算額: 57千円) ・聴覚障害者協会 (予算額: 30千円) ・ふれあい那須塩原実行委員会 (予算額: 500千円) 本年度予算額 2,133千円 前年度予算額 1,349千円 増減額 784千円
ボランティアセンター事業	ボランティアのコーディネート業務を基本に、ボランティア情報の発信、講座開催等を通じたボランティアの育成、地域共生社会の実現に向けた小地域福祉活動とボランティア活動の連携への取り組みを進めます。 本年度予算額 2,980千円 前年度予算額 2,753千円 増減額 227千円

軽トラック貸出事業	ボランティアグループや福祉団体の活動を支援するため軽トラックを貸出します。 本年度予算額 1 2 5 千円 前年度予算額 2 1 4 千円 増減額 △ 8 9 千円
地域福祉活動補助金事業 (ボランティア)	ボランティア団体が主体的に実施する事業等に補助金を交付し、ボランティア活動を支援し、さらなる活動の活性や地域の福祉課題等の解決を図ります。 本年度予算額 9 2 2 千円 前年度予算額 1, 2 4 5 千円 増減額 △ 3 2 3 千円
災害等関係研修会事業	大規模な災害等が発生した際に、災害ボランティアセンターを地域住民やボランティア、行政、各関係機関等との協働により運営ができるよう研修会等を実施します。 本年度予算額 1 8 7 千円 前年度予算額 1 4 9 千円 増減額 3 8 千円

生活福祉資金貸付サービス区分

事業名	事業の概要
生活福祉資金貸付事業	他貸付制度からの借入が困難な低所得世帯や障害者世帯等に対して、経済的自立と生活の安定を図るため資金を貸付する。また、コロナ特例貸付の借受人に対し、フォローアップ支援を行います。 本年度予算額 1 1, 6 8 3 千円 前年度予算額 1 1, 3 8 7 千円 増減額 2 9 6 千円

○障害福祉サービス拠点区分

心の里サービス区分

事業名	事業の概要
心の里の経営	障害者総合支援法に基づく多機能型事業所として生活介護・就労継続支援事業を実施します。 本年度予算額 6 5, 6 9 5 千円 前年度予算額 5 8, 5 1 9 千円 増減額 7, 1 7 6 千円

つくしサービス区分

事業名	事業の概要
つくしの経営	障害者総合支援法に基づく多機能型事業所として生活介護・就労継続支援事業を実施します。 本年度予算額 4 0, 2 5 2 千円 前年度予算額 4 0, 6 5 3 千円 増減額 △ 4 0 1 千円

ふれあいの森サービス区分

事業名	事業の概要
ふれあいの森の運営	市の指定管理を受け、地域活動支援センターⅢ型として、地域の障害者のための通所による生産活動、創作的活動、社会との交流の促進等の事業を実施します。 本年度予算額 45, 133 千円 前年度予算額 44, 396 千円 増減額 737 千円

相談支援サービス区分

事業名	事業の概要
相談支援事業	障害福祉サービス等利用計画を作成し、福祉サービス事業者等との連絡調整、計画の定期的な見直し（モニタリング）を行い、自立した日常生活、または社会生活を営むことができるよう支援します。 本年度予算額 12, 063 千円 前年度予算額 11, 116 千円 増減額 947 千円

◆ 公益事業

○ 公益事業拠点区分

生活困窮者自立支援サービス区分

事業名	事業の概要
生活困窮者自立支援事業	生活や仕事などに困っている人や不安を抱えている人の生活の見直しや改善の相談に応じ、安心して生活できるよう関係機関と連携を図りながら支援します。 ・ 自立相談支援事業 困りごとや不安の相談に応じ、必要な関係機関に繋がります。自立に向けた目標を立て、一人ひとりに応じた支援プランを作成します。 ・ 家計改善支援事業 相談者自ら家計のやりくりができるよう、借金や滞納などの問題を明確にし、必要な支援を行います。 ・ 就労準備支援事業 生活のリズムや人との関わり等に不安を抱え、直ちに就労することが困難な方、就労しても長く続かない方の相談に応じます。相談者1人ひとりに応じた支援プランを作成し、様々な体験を通して就労までの準備を支援します。 本年度予算額 46,799千円 前年度予算額 38,428千円 増減額 8,371千円

居宅介護支援サービス区分

事業名	事業の概要
居宅介護支援事業	ケアプラン（居宅サービス計画）を作成し、サービス提供事業者等と連絡調整を図りながら在宅での自立した生活を営むことができるよう支援します。 本年度予算額 15,521千円 前年度予算額 19,885千円 増減額 △4,364千円

◆収益事業

○収益事業拠点区分

自動販売機設置運営サービス区分

事業名	事業の概要
自動販売機設置運営事業	市内の公共施設に清涼飲料水等の自動販売機を設置し、その売り上げを福祉基金に繰り入れます。 本年度予算額 1, 238千円 前年度予算額 1, 671千円 増減額 △433千円

◆その他

日本赤十字社事業

事業名	事業の概要
日本赤十字社事業	・会費募集 紛争・災害・病気等で苦しむ人を助ける活動を支えるための会費を募集します。 本年度予算額 10, 245千円 前年度予算額 10, 338千円 増減額 △93千円
	・罹災者援護事業 地震、火災などの災害に遭った市民のために毛布、布団等を支給します。 本年度予算額 367千円 前年度予算額 137千円 増減額 230千円
	・地域赤十字奉仕団への支援 「赤十字のボランティア活動を通して地域社会に貢献したい」という思いを持った人びとによって組織された地域赤十字奉仕団の活動を支援します。 本年度予算額 140千円 前年度予算額 140千円 増減額 0千円